

大会内容

◆10月11日(土)公開講演会・研究発表分科会

● 公開講演会 13時30分～15時20分

会場:だて歴史の杜カルチャーセンター1階大ホール

13:30～13:45 開会挨拶

13:50～15:20 講演「考古学者 峰山巖論—貝塚調査とその学際的研究—」日本考古学協会会員 竹田輝雄

講演「先住民族としてのアイヌ—北海道アイヌ協会の活動と国内外の動向—」公益社団法人北海道アイヌ協会副理事長 阿部ユポ(一司)

● 研究発表分科会 15時30分～17時00分

分科会Ⅰ 「貝塚研究の新視点—縄文～近代の貝塚と集落—」(大ホール)

分科会Ⅱ 「墓とモニュメント—環状列石・盛土遺構・周堤墓—」(ハーパーホール)

◆研究発表分科会の概要

● 分科会Ⅰ「貝塚研究の新視点—縄文～近代の貝塚と集落—」会場:だて歴史の杜カルチャーセンター1階大ホール

【10月11日(土)】

15:30～ 16:00	「縄文時代貝塚と集落」	西本豊弘(伊達市噴火湾文化研究所)
16:00～ 16:30	「北海道の貝塚分布とその特徴—縄文～近代—」	永谷幸人(伊達市噴火湾文化研究所)
16:30～ 17:00	「噴火湾沿岸の縄文貝塚と集落立地」	角田隆志(洞爺湖町教育委員会)

【10月12日(日)】

9:30～ 10:00	「津軽海峡周辺の縄文貝塚と集落立地」	吉田 力(函館市教育委員会)
10:00～ 10:30	「貝塚と埋葬人骨との同時代性の検討」	菅野修広(登別市教育委員会)

10:30~ 11:00	「縄文海進・海退期における環境変化と生業活動の変遷」	三谷綾乃(洞爺湖町教育委員会)・青野友哉(伊達市噴火湾文化研究所)
11:00~ 11:30	「続縄文～擦文期における貝塚・墓・住居の偏在について」	松田宏介(室蘭市教育委員会)
11:30~ 12:00	「近世アイヌ文化期の貝塚と機能の復元」	三谷智広(洞爺湖町教育委員会)
12:00~ 13:00	(昼食休憩)	
13:00~ 13:30	「二枚貝貝殻の微細成長縞解析に基づく高時間精度環境復元」	宮地 鼓(苫小牧市美術博物館)
13:30~ 14:00	「古環境復元における貝塚研究の有用性ーアイヌ文化期を例にー」	添田雄二(北海道開拓記念館)・渡邊剛(北海道大学大学院理学研究院)
14:00~ 14:30	「北海道における縄文時代年代研究と貝塚の年代測定」	臼杵 勲(札幌学院大学)・國木田大(東京大学)
14:30~ 15:00	「北海道の貝塚調査と炭素 14 年代測定の海域差(海洋リザーバー効果)について」	新美倫子(名古屋大学)
15:00~ 15:30	「炭素 14 年代測定における海域差(ΔR)の存在とその補正法」	伊達元成(伊達市噴火湾文化研究所)
●分科会Ⅱ「墓とモニュメントー環状列石・盛土遺構・周堤墓ー」会場:だて歴史の杜カルチャーセンター1階ハーパーホール		
【10月11日(土)】		
15:30~ 16:00	「趣旨説明」	小杉 康(北海道大学大学院文学研究科)
16:00~ 16:30	「北海道における縄文墓制の沿革①ー環状列石以前ー」	藤原秀樹(北海道教育庁)
16:30~ 17:00	「環壕ー丸子山遺跡・静川遺跡ー」	高橋 理(千歳市埋蔵文化財センター)
【10月12日(日)】		
9:30~ 10:00	「鷲ノ木遺跡の環状列石に見る土地利用と形成過程」	高橋 毅(森町教育委員会)
10:00~ 10:30	「北海道円筒土器文化の盛土遺構ー福島町館崎遺跡の調査からー」	福井淳一(北海道埋蔵文化財センター)
10:30~	「円筒土器文化以降における集落と盛土遺構の変遷ー垣ノ」	福田裕二(函館市教育委員会)

11:00	島遺跡の盛土遺構の調査からー」	
11:00～ 11:30	「後期前葉の函館湾西岸の盛土遺構と配石遺構ー北斗市館野遺跡・茂別遺跡の調査からー」	富永勝也(北海道埋蔵文化財センター)
11:30～ 12:00	「縄文後期初頭の大規模配石遺構における盛土遺構の形成過程とその意味についてー函館市石倉貝塚の調査よりー」	佐藤智雄(函館市教育委員会)
12:00～ 13:00	(昼食休憩)	
13:00～ 13:30	「盛土遺構と周堤墓ー千歳市キウス4遺跡の形成過程ー」	阿部明義(北海道埋蔵文化財センター)
13:30～ 14:00	「キウス周堤墓群の出現と遺跡形成過程」	坂口 隆(北海道大学埋蔵文化財調査室)
14:00～ 14:30	「北海道における縄文墓制の沿革②ー周堤墓以降ー」	土肥研晶(北海道埋蔵文化財センター)
14:30～ 15:00	「文化制度としての縄文モニュメント」	小杉 康(北海道大学大学院文学研究科)
15:00～ 15:30	討論	